

令和7年度 第5回大潟区地域協議会次第

日時 令和7年8月21日（木）午後7時00分から

会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について 資料No.1

4 その他

・次回地域協議会開催予定日

9月 18日（木） 午後7時00分

5 閉会

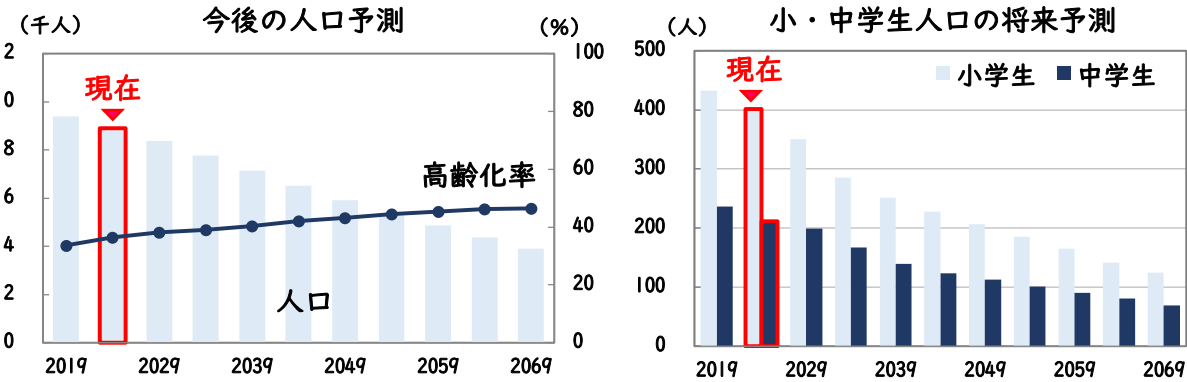
～終了後～

●大潟かっぱ祭り在り方検討委員会の報告

大潟区

シナリオ①：現行推移

このままのペースで増減が続いたらどうなるか。

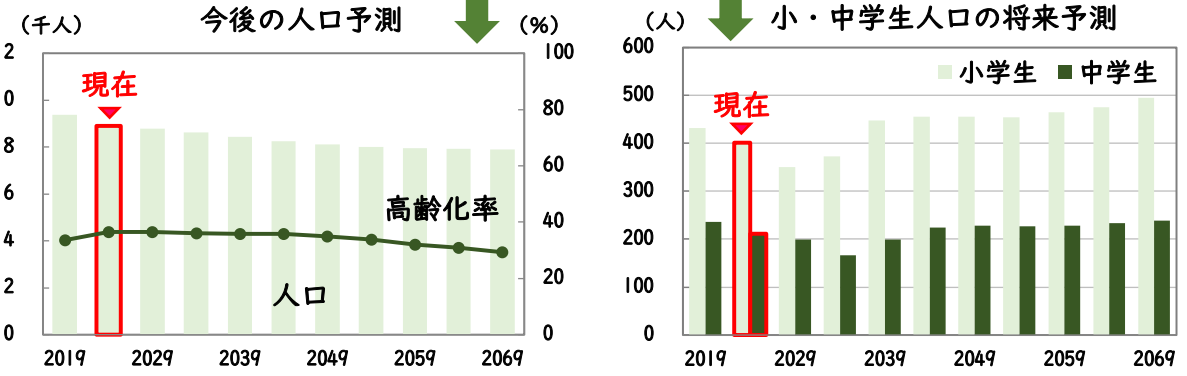


シナリオ②：組み合わせ最適モデル

定住促進に取り組み、毎年、以下の目標が達成できたらどうなるか。

合計特殊出生率
1.28 → 1.68

移住	30歳代前半夫婦が4歳以下の子ども1人を連れてU・Iターン	7	世帯移住
	20代前半夫婦がU・Iターン	7	世帯移住
	60代前半夫婦（定年退職者）がU・Iターン	7	世帯移住
定住	男性 10代後半から20代前半の流出率を 18% から 9% に改善		
	女性 10代後半から20代前半の流出率を 17% から 8% に改善		

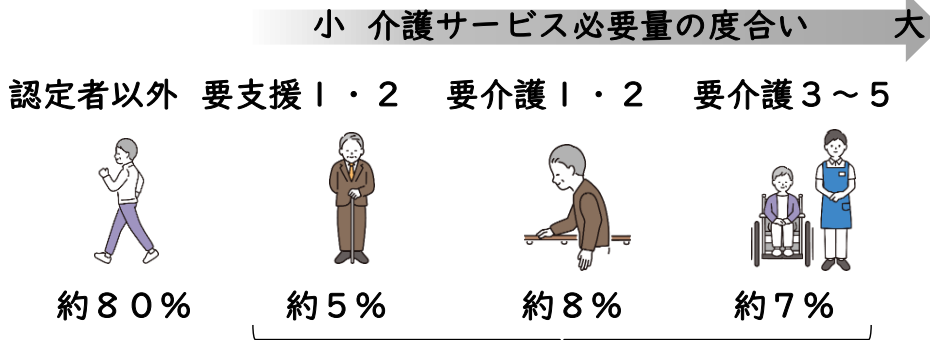


介護分析

※調査時点：令和6年4月30日

大潟区の65歳以上の介護認定の状況

大潟区は、全国平均と比較してどんな地域と言える？



大潟区の高齢者のうちの約20%が介護認定を受けています。

概要

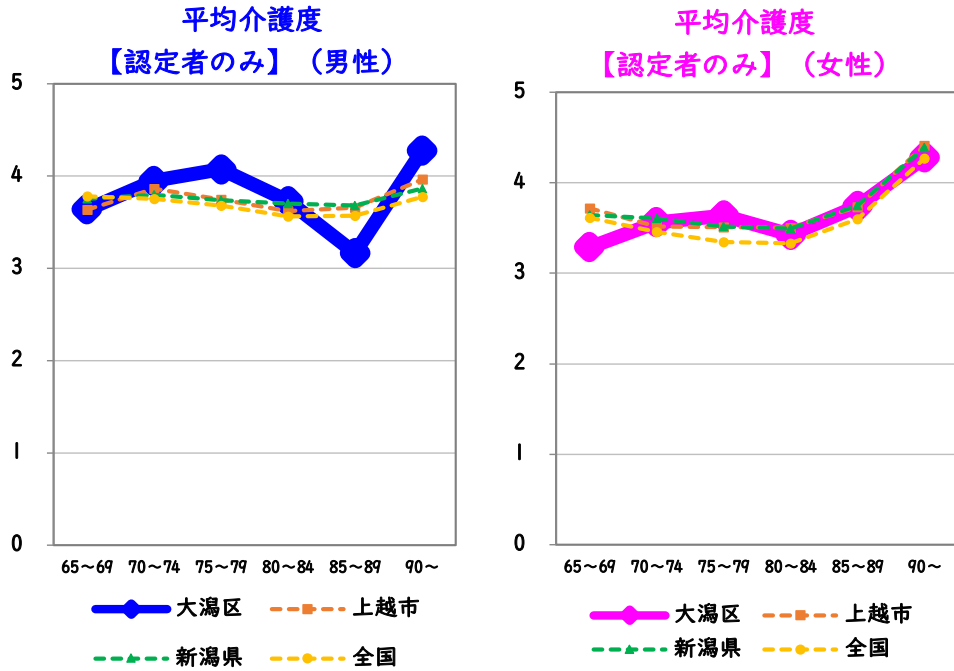
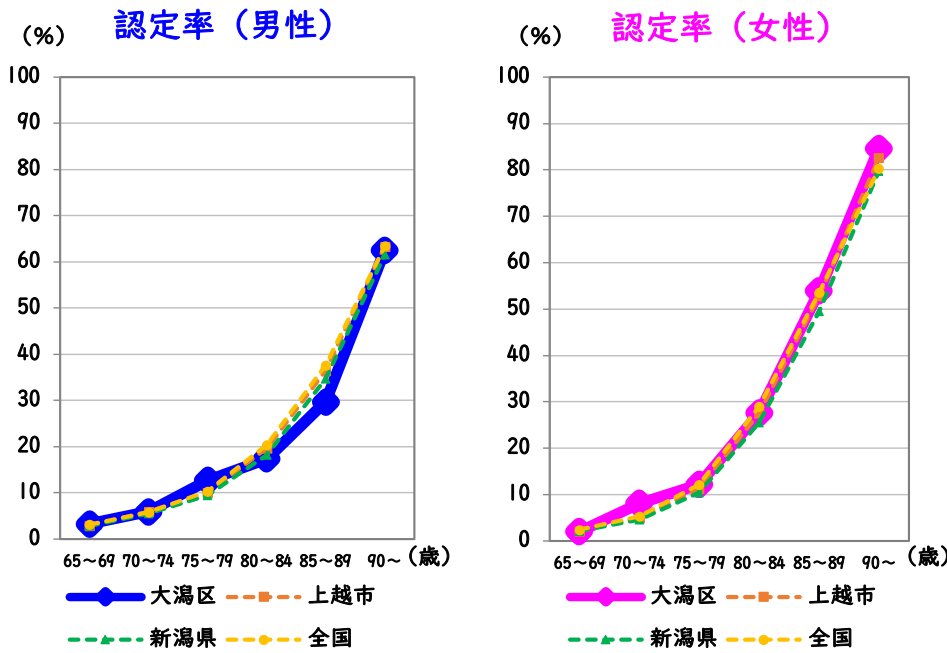
- 認定者率 男性 **低め**（特に80代前半～後半）
女性 **高め**（70代前半、90代～）
全国平均と比較して、程度は様々だが、介護や支援を必要とする方男性では少なく、女性では多い地域である。
- 認定者の平均介護度 男性 **高め**（特に70代）
女性 **高め**（特に70代後半）
全国平均と比較して、手厚い介護を必要とする人が男女ともに多い地域
（「低め」は「一人当たりの介護度が小さい」、「高め」は「一人当たりの介護度が大きい」という見方もできる）

結論

※本分析は、地域での暮らしが高齢者の健康度に及ぼす影響を調べるため、特別養護老人ホームに入所している人は、入所前の住所にもどしてから分析を行っています。

(1)年齢階層別の介護認定率

(2)年齢階層別の平均介護度



※平均介護度は要支援1＝1、要支援2＝2、要介護1＝3・・・要介護5＝7とした場合の平均値です。

地 元 関 係 図

※調査時点：令和7年3月31日

